

### デジタルトランスフォーメーション(DX)って必要なの？

皆さんこんにちは。燕商工会議所会員の恩田です。

今回は第二回目となります。前回のコラムでは、やはり「DXは必要である」とお伝えしましたが、じゃあ、何をすれば？何ができるの？を一緒に考えていきたいと思えます。

まず考えられることは、やはり「アナログ業務のデジタル化」ではないでしょうか？

取引先様への注文をFAXで行っている企業様が多いと聞きます。元のデータはエクセルなどパソコンで作成していて、わざわざデジタルデータからアナログ形式(紙でFAX)で送り、さらに取引先様からの納期回答などもFAX(紙)で返信され、それをパソコンに入力するといった手間や、入力時のミスも多く、また、確認(情報検索)作業も紙だと時間がかかり大変のようです。

その業務をデジタルデータのみ

でやり取りできるとしたらどうでしょうか？注文情報のパソコンへの再入力もなくなり、ミスもなくなり、また、確認作業もデジタルデータであればパソコンで簡単に検索することが可能です。

これだけでも1日数時間の作業軽減ができ、生産性向上に繋がるのではないのでしょうか？

アナログ業務のデジタル化、データ活用といえば、先日、燕市でDX推進セミナーが開催されましたね。その講演の中でもSFTC(スマートファクトリーツバメクラウド=燕版共用クラウド)の紹介がありました。これは、今回お伝えした内容「そのもの」のクラウドサービスです。「もし、もっと詳しく聞きたい。聞き逃したけど聞いてみたい」ということがあれば、ご相談下さい。

株式会社ウイング  
県央R&Dオフィス 恩田 実